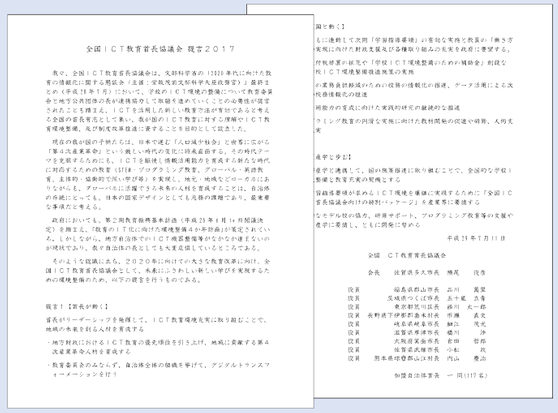
■文部科学大臣にＩＣＴ環境整備のための「提言2017」を手渡しました

全国ＩＣＴ教育首長協議会では、平成29年7月11日、会長・横尾俊彦佐賀県多久市長と、役員・西川太一郎東京都荒川区長、細江茂光岐阜市長、橋川渉滋賀県草津市長、内山慶治熊本県山江村長が、文部科学省を訪問し、松野博一文部科学大臣に、「提言2017」を手渡しました。「提言2017」は、平成29年4月に実施した加盟自治体へのアンケートで寄せられた意見をもとに、全国ＩＣＴ教育首長協議会として、未来にふさわしい新しい学びを実現する環境整備のための提言としてとりまとめたものです。詳細はhttps://ictmayors.jp/をご参照ください。

全国ＩＣＴ教育首長協議会「提言 2017」



全国ＩＣＴ教育首長協議会 提言２０１７

教育の情報化に関する懇談会（主催：文部科学省大臣政務室）を踏まえ、ＩＣＴ教育環境充実に取り組むとともに、地域社会が一体となった推進推奨事例の収集・発信や、その取組を企画・検討している地方公共団体等に対して支援していくことを目的として、平成30年1月30日に第２回目となる「全国ICT教育首長サミット」を開催しました。

また、同時に開催した「2018　日本ＩＣＴ教育アワード」では、全国の自治体より応募いただいたＩＣＴ教育の実践の中から、モデルケースとしてふさわしい先進的な取組みに対して表彰を行いました。

2018 日本ＩＣＴ教育アワード受賞式

文部科学大臣賞	
長野県喬木村	地域創生を目指したＩＣＴ活用による教育の魅力化の取り組み
総務大臣賞	
熊本県山江村	学力向上の軌跡　～山江村７年間のＩＣＴ教育とは～
日本ＩＣＴ教育アワード	
愛媛県西条市	ワクワク度日本一に向けたＩＣＴを活用した「スマートシティ西条」
全国ＩＣＴ教育首長協議会会長賞	
沖縄県与那国町	最西端の地で最先端！！与那国町の離島教育課題解決に向けての取り組み
日本ＩＣＴ教育アワード審査委員長賞	
秋田県八峰町	ふるさとの未来を担う人材育成を支えるＩＣＴ教育の推進 ～ＩＣＴとコミュニティ・スクールによる「地域とともにある学校」づくり～
日本視聴覚教育協会会長賞	
島根県美郷町	美しき郷からの挑戦　～ＩＣＴを活用し魅力ある教育を目指して～
奨励賞　５自治体　※自治体コード順	
長野県伊那市	未来に夢を持ち、地域に誇りを持てる子どもの育成　ーＩＣＴの特性を生かしてー
大阪府河内長野市	人とつながる・世界とつながる河内長野市教育ＩＣＴの実現
岡山県備前市	１人１台のタブレット導入をはじめとする教育に関わるＩＣＴ活用の推進
福岡県飯塚市	飯塚は教育先進地域です
佐賀県武雄市	未来を担うすべてのこどもを主人公に　～武雄市におけるＩＣＴ利活用教育の取組～

左から、内山慶治熊本県山江村長、細江茂光岐阜市長、会長の横尾俊彦佐賀県多久市長、松野博一文部科学大臣、西川太一郎東京都荒川区長、橋川渉滋賀県草津市長
（文部科学大臣室にて）

■全国ＩＣＴ教育首長協議会（平成30年3月15日現在）

会　長	佐賀県多久市長	横尾　俊彦	役　員	大阪府箕面市長	倉田　哲郎
役　員	福島県郡山市長	品川　萬里	役　員	佐賀県武雄市長	小松　　政
役　員	茨城県つくば市長	五十嵐立青	役　員	滋賀県草津市長	橋川　　渉
役　員	東京都荒川区長	西川太一郎	役　員	熊本県球磨郡山江村長	内山　慶治
役　員	長野県下伊那郡喬木村長	市瀬　直史			

地域ぐるみの　教育ICT化を推進するために　連携します

全国ICT教育首長協議会

Japan City Mayors ICT Education Consortium

世界最先端IT国家創造宣言が閣議決定され，文部科学省では「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」が開催されるなど，各自治体に対して，教育環境のＩＣＴ化の実現と人材育成が求められています。その実現には，教育委員会だけでなく，まちづくりに責任をもつ首長の役割が大きくなっております。

しかし実際は，「ＩＣＴをどのように教育に導入したら効果的かわからない」「導入効果のエビデンスを求められるが答えられない」「どのような財政措置があるかわからない」など学校のＩＣＴ環境整備をなかなか進められないと悩んでいる自治体も多いことが聞かれます。

こうした声を受けて、未来の子供たちのために教育環境整備の充実の重要性をお考えの首長の方々に御参加いただき，これまでの取組や今後の展望など意見交換を行う場を設け，自治体相互の緊密な連携のもと，先進的ＩＣＴ教育の研究および具体化を図ることにより，教育の質的向上に必要なＩＣＴ機器の整備および制度改革の推進に資することを目的とし「全国ＩＣＴ教育首長協議会」を設立することとしました。

本協議会は，「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」においてもその意義が位置付けられております。

本協議会の趣旨に御賛同いただける方々に御加入いただき，先進的ＩＣＴ教育など日本の教育水準向上を図ってまいりたいと考えております。是非，一緒に子供たちの未来のために日本の教育を発展させていきましょう。

全国ＩＣＴ教育首長協議会 事務局

一般財団法人　日本視聴覚教育協会内
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11虎ノ門PFビル
電話　03-3431-2186　　FAX　03-3431-2192
Mail　info@ictmayors.jp　　https://ictmayors.jp

教育のICT化の意義

21世紀の予測困難なグローバル社会、日々加速する情報化の流れのなかで活躍する地域人材を育むためには、今まで通りの教育方法に加え、ICTを活用した新しい教育方法が有効です。文部科学省では、教科指導におけるICT活用の効果として、様々な検証が行われています。これからの社会に求められる資質・能力、とりわけ様々な情報を主体的に活用し、問題を解決したり、新たな価値を創造したりする能力の育成にアクティブ・ラーニングの視点からの学び全体の改善が求められるなかで、アクティブ・ラーニングの視点からの対話的・主体的で深い学びを実現する上で、ICTの効果的な活用の重要性が指摘されています。特別支援教育においては障がいの状態や特性に応じたICTの活用が、教科や自立活動等において極めて有用だと言われており、合理的配慮の社会の中で、すべての子供たちがICTを使いこなし、地域社会の一員として参画してほしいと願っています。

首長のリーダーシップで実現する教育のICT化

これからの人口減少社会を迎え、一人一人の生涯に渡って生き抜く力・地域に貢献する力を最大化していかなければならない私たち地方自治体にとって、ICTを活用した学びは重要だと考えています。また、地方創生の観点からは、学校統廃合に直面する自治体も多く、これらを解決するために「遠隔授業」を活用する事例も増えています。地域に居ながら世界でビジネスを展開する力強い世代を育てる施策にもなると考えます。また、子供を持つ親世代にとって、教育を主体にした街づくりには大きな関心があり、人口増加の実例も報告されています。今後はICTを活用した「授業と家庭が連動した学び」も指摘されており、ICTはこれからも地域と家庭の活性化に大きく貢献すると考えています。

今後これらのICTを活用した地域施策を推進するには首長によるリーダーシップが重要だと考えています。

デジタル思考ツールによるアクティブ・ラーニングを取り入れた学習

1人1人の学習履歴がとれるコース別学習システムを活用した算数学習

コミュニケーションがとれない子供がタブレットに文字を打つことで交流

問題解決学習の成果として、電子黒板を使ってプレゼンする中学生

家庭のタブレットを使って、クラウド上にあるコンテンツを自分のペースで学習

離れた地域や学校とテレビ会議を使って、協働学習や双方向型授業を展開

文部科学省「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」最終まとめ（抜粋）

【2020年代の教育の情報化の目指すもの】

グローバル化や急速な情報化など社会の変化が激しく、将来の変化を予測することが困難な時代を前に、子供たち一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら作り出していくことが重要である。子供たちには、何が重要かを主体的に考え、他者と協働しながら新たな価値の創造に挑むとともに、新たな問題の発見・解決に取り組んでいくことが求められる。子供たちが自らの人生や社会をよりよく変えていくことができるという実感を持つことは、未来に向けて進む希望と力を与えることにつながる。

そのために、いかに教員の指導力を向上させ、子供の資質・能力を高めるか、そのために必要な環境は何かといったあるべき教育現場の姿をふまえ、2020年代に向けた教育の情報化を推進する。

【今後の取組方針】

（首長を中心としたICT教育推進組織の構築）

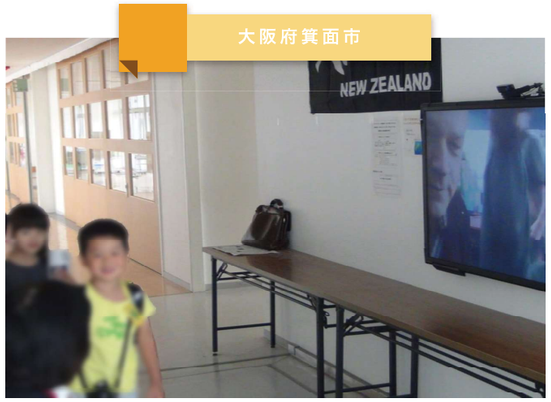
平成27年度につくば市学校ICT教育40周年記念行事として「ICT教育全国首長サミット」が開催されたが、地域社会が一体となっての取組を全国的に推進する観点から、これを年1回程度の定期的な開催として、併せて先進的・特徴的な取組を実施している地方公共団体への表彰等の実施を通じて、教育の情報化を推進することが望まれる。その際、地域社会が一体となった推進推奨事例の収集・発信や、地域社会が一体となった取組を企画・検討している地方公共団体等に対する支援を併せて行うことも効果的と考えられる。

地域ぐるみの教育のICT化

各自治体で、「地域ぐるみの教育のICT化の取り組み」が始まっています。
私たちは、こうした地域ぐるみの教育のICT化の取り組みを応援していきます。

ICTを積極的に導入することで学力を向上させた熊本県山江村の取り組み

遠隔協働学習で、過疎の村を活かし、中1ギャップ克服を目指す長野県喬木村の取り組み



海外との交流で国際感覚を育む大阪府箕面市の取り組み

つくば市と多久市をICTで結んだ遠隔協働学習の取り組み

全国ICT教育首長協議会の役割と今後の活動方針

21世紀の地域社会においてICTを活用し、果敢に課題に挑戦する子供たちを育成していくために、首長が主体に立って、教育委員会だけではなく地域内外の教育資源を効果的に結びつけ、「教育の情報化」を加速させるために自治体相互の連携を図る活動を展開します。

【活動理念】

自治体相互の緊密な連携のもとに，先進的ICT教育の研究および具体化を図ることにより，教育の質的向上に必要なICT機器の整備および制度改革の推進に資することを目的とする。

【特徴】

◆国・文部科学省の施策を加速化させる連携活動
◆産官学で自治体の「地域ぐるみの推進事例」を広く共有する活動
◆自治体と民間企業の連携活動

【活動概要】

◆首長による教育ICT加速化活動
◆ICT教育全国首長サミットの開催
◆日本ICT教育アワードの年間表彰
◆地域社会が一体となった推進推奨事例の収集・発信　等